

## 円城浄水場有機化合物検出について (10月17日報道発表)

【経緯】(公財)日本水道協会が実施する「令和4年度水道統計調査」へ調査協力する中で、円城浄水場(案田配水池)において、PFAS\*のうちの水質管理目標設定項目(PFOS、PFOA)の暫定目標値50ng/Lを超える1,400ng/Lが検出されている旨、10/13(金)保健所より連絡があり、緊急対応の必要性を指摘された。

【範囲】円城浄水場 給水区域

【取水場所】河平ダム

【世帯数】522世帯、約1,000人

【目標値を超えた物質】有機フッ素化合物 PFOS、PFOA  
(暫定目標値 50ng/L)

【原因】不明

【対応】(R5)2023年10月14日に緊急の水質検査を実施  
(速報値 1,100~1,200ng/L)  
給水車及びペットボトル水により配水

---

\* PFAS とは、4,700 種類以上の人工的に合成された有機フッ素化合物群の総称で、PFOS (ペルフルオロオクタンスルホン酸)、PFOA (ペルフルオロオクタン酸) はその代表的なものです。

これらの物質はコレステロール値の上昇、発がん、免疫系等との関連が報告されていますが、どの程度の量で影響が出るのか、いまだ確定的な知見はなく、現在も国際的に検討が進められています。

なお国内では PFOS、PFOA の摂取が主たる要因と見られる健康被害が発生したという事例は確認されていません。